

2. 基本時制

1.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 地球は太陽のまわりを回っている。

(earth / the / goes / . / the / around / sun)

(2) 私は明日、京都へ向けて出発します。

(tomorrow / leave / . / I / Kyoto / for)

(3) 彼が戻るまで私はここにいましょう。

(stay / . / he / here / comes / I'll / back / till)

[解答]

- (1) The earth goes around the sun.
- (2) I leave for Kyoto tomorrow.
- (3) I'll stay here till he comes back.

Note

2. 基本時制

1. 現在時制

(1) 地球は太陽のまわりを回っている。

The earth goes around the sun.

「地球」
the が必要

現在時制
不変の真理

「太陽のまわりを」
sun 「太陽」、the が必要

基本時制の一つである現在時制は、現在のことがらだけでなく、過去または未来を含んだ時間的に幅のある次のような内容を表します。「現在時制」という名前に惑わされないようにすることが必要です。

- | | |
|------|-----------------------|
| 現在時制 | ① 現在の状態・性質 「～である、～する」 |
| | ② 現在の習慣的動作・反復的出来事 |
| | ③ 不変の真理・社会通念・ことわざ |
| | ④ 確定的な未来 |
| | ⑤ 時・条件を表す副詞節 |

- ① He belongs to the tennis club.
(彼はテニスクラブに入っています。)
- ② He usually goes to tennis club every day.
(彼は毎日テニスクラブに通っています。)
- ③ The sun rises in the east.
(太陽は東から昇る。)
- ④ Today's tennis practice starts at 3 o'clock.
(今日のテニスの練習は3時に始まります。)
Tomorrow is Monday.
(明日は月曜日です。)
- ⑤ Please call us when you get to the station.
(駅に着いたら私たちに電話して下さい。)

(1)の問題の「地球は太陽のまわりを回っている」は、③の「不変の真理」にあたりますので、現在形を使うことになります。

Note

(2) 私は明日、京都へ向けて出発します。

I leave for Kyoto tomorrow.



「～に向けて出発する」
現在時制・確定的な未来

(2)の問題では、「…明日、京都へ向けて出発します」と未来の内容ですが、これは④の「確定的な未来」、つまりほぼ間違いなく行われることが決まっている内容であれば、現在形で表すことになります。

Note

(3) 彼が戻るまで私はここにいましょう。

I'll stay here till he comes back.

I will
の短縮形

「～にいる」

接続詞
「～まで」

現在時制
時・条件を表す副詞節

(3)の問題は、⑤の「時・条件を表す副詞節(副詞の働きをする主語+動詞)」にあたりますので、未来の内容であっても現在形を使うことになります。

このような副詞節を作る接続詞には次のようなものがあります。

[時・条件を表す副詞節を作る接続詞]

as (～するとき、～しながら)	as long as (～する限りは)
as soon as (～するとすぐに)	before (～する前に)
until [till] (～するまで)	when (～するとき)
after (～したあとに)	if (もし～なら)
in case (～する場合に備えて)	unless (もし～でないなら)

しかし、これには実は次のような例外があります。注意しましょう。

[例外]

主語の意志や話し手のかなりの確信度を表す場合は、時・条件を表す副詞節の中でも、**will** や **be going to** が使われる。

If he will do so, I must punish him. [主語の意志]

(もし彼がそうするつもりなら、私は彼を罰しなければならない。)

If it's going to rain, I will take an umbrella. [話し手の確信]

(雨が降るようなら、傘を持っていきます。)

2.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) マイクは普段、犬といっしょに散歩をした。

(usually / with / dog / a / take / Mike / walk /
./ his) [_____ の語は適する形に]

(2) トムはその会議でスピーチをしました。

(give / at / ./ a / meeting / Tom / speech /
the) [_____ の語は適する形に]

(3) 第二次世界大戦は 1939 年に勃発した。

(break / ./ 1939 / in / out / World War II)
[_____ の語は適する形に]

[解答]

- (1) Mike usually took a walk with his dog.
- (2) Tom gave a speech at the meeting.
- (3) World War II broke out in 1939.

Note

2. 過去時制

(1) マイクは普段、犬といっしょに散歩をした。

Mike usually took a walk with his dog.

「普段、ふつう」
※一般動詞の前
に置く。

過去時制
過去の習慣的動作

take a walk
「散歩をする」

過去時制は、主に次のような場合に用いられます。

- | | |
|------|-------------------|
| 過去時制 | ① 過去の状態 「～だった」 |
| | ② 過去の習慣的動作・反復的出来事 |
| | ③ 過去の一時的な動作 |
| | ④ 歴史的事実 |

- ① He was in good health when I visited him yesterday.
(昨日私が訪ねたとき、彼はとても元気だった。)
- ② I often went fishing in the Katsura River.
(私はよく桂川へ釣りに行きました。)

- ③ She left for New York yesterday.
 (彼女は昨日ニューヨークへ出発した。)
- ④ The Beatles broke up in 1970.
 (ビートルズは 1970 年に解散した。)

(1)の問題では②の「過去の習慣的動作」にあたりますので、過去形を使います。take a walk で「散歩をする」なので、take を過去形にして took a walk としましょう。

usually「普段、ふつう、たいてい」は、always「いつも、常に」や sometimes「ときどき」などとともに、「頻度の副詞」といわれるもので、通常、be 動詞や助動詞の後、一般動詞の前に置かれます。位置に注意しましょう。

Note

(2) トムはその会議でスピーチをしました。

Tom gave a speech at the meeting.

過去時制
過去の一時的な動作

「スピーチをする」
give a speech

「その会議で」
at ~ 「~で」

(2)の問題では「…スピーチをしました」で、④の「過去の一時的な動作」にあたります。過去形を使って gave a speech としましょう。

「その会議で」は、比較的狭い場所を表す前置詞 at が「~で」になりますので、at the meeting としてください。

Note

(3) 第二次世界大戦は 1939 年に勃発した。

World War II / broke out / in 1939.

「第二次世界大戦」

過去時制
歴史的事実

「勃発する」
break out

(3)の問題は、④の「歴史的事実」にあたりますので、break を過去形 broke にして broke out としましょう。break out は「〈戦争などが〉勃発する」という意味です。

3.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 彼女はいつも何か食べてばかりいる。

(something / is / . / she / eating / always)

(2) 私たちはまもなく札幌へ出発します。

(leaving / soon / are / . / we / Sapporo / for)

(3) トムはテニスへの興味を失いかけていた。

(losing / in / was / . / tennis / Tom / interest)

(4) 彼らは明日、そこで働いているでしょう。

(there / will / . / tomorrow / they / working /
be)

[解答]

- (1) She is always eating something.
- (2) We are leaving for Sapporo soon.
- (3) Tom was losing interest in tennis.
- (4) They will be working there tomorrow.

Note

3. 進行形

(1) 彼女はいつも何か食べてばかりいる。

She is always eating something.

「いつも」
※be 動詞の後に置く。

現在進行形
現在の反復的動作(批判や非難の感情を含む)

進行形は〈be 動詞+〜ing〉の形で、その時点で動作が行われていることを基本的に表しますが、状態を表す動詞は通常、進行形にしません。

また、進行形には各時制との組合せで次のようなものがあります。

現在進行形 〈is[am, are]+ ~ing〉

現在完了進行形 〈have[has] been+ ~ing〉

過去進行形 〈was[were]+ ~ing〉

過去完了進行形 〈had been + ~ing〉
未来進行形 〈will be + ~ing〉
未来完了進行形 〈will have been + ~ing〉

まず、現在進行形には次のような用法があります。

現在進行形… 〈is[am, are] + ~ing〉

- ① 現在進行中の動作・出来事 「～しているところです」
- ② 変化の途中（現在） 「～しかけている」
- ③ 現在の反復的動作 「(いつも) ～ばかりしている」
非難や批判の感情を含む表現。
- ④ 確定的な未来・予定 あらかじめ計画された予定を表す。
主に往来・発着を表す動詞に多い。

- ① **She is talking with him again.**
(彼女はまた彼と話をしている。)
- ② **A lot of children are dying in that country.**
(その国では多くの子どもたちが死にかけています。)
- ③ **She is always making excuses.**
(彼女はいつも言い訳ばかりしている。)
- ④ **He is coming here at five o'clock.**
(彼は5時にここへ来ることになっている。)

(1)の問題では「彼女はいつも…食べてばかりいる」で、③の「現在の反復的動作」にあたりますので、**She is always eating** の語順にしましょう。

always 「いつも」は頻度を表す副詞ですので、**be** 動詞や助動詞の後、一般動詞の前に置かれます。

Note

(2) 私たちはまもなく札幌へ出発します。

We are leaving for Sapporo soon.

現在進行形
確定的な未来・予定

leave for ~
「~に向けて出発する」

「まもなく」

(2)の問題は、④の「確定的な未来・予定」にあたりますので、現在進行形を使って表しましょう。

leave for ~は「~へ向けて出発する」です。leave は元々「(いた場所を)去る」です。for ~は方向を表して「~に向けて」です。これらの語が結びついて「(いた場所を)~に向けて去る」つまり「~へ向けて出発する」になります。

Note

(3) トムはテニスへの興味を失いかけていた。

Tom was losing interest in tennis.

過去進行形
変化の途中(過去)

lose
「~を失う」

「興味」

過去進行形には次のような用法があります。

過去進行形… 〈was[were]+ ~ing〉

- ① 過去のある時点における進行中の動作・出来事
「～しているところだった」
- ② 変化の途中(過去) 「～しかけていた」
- ③ 過去の反復的動作 「(いつも) ～ばかりしていた」
非難や批判の感情を含む表現。
- ④ 過去のある時点で確定的な未来・予定
主に往来・発着を表す動詞に多い。

- ① When I went into the room, she was talking with him.
(私が部屋に入っていったとき、彼女は彼と話をしていた。)
- ② The train was stopping.
(バスが止まりかけていた。)
- ③ She was always making excuses.
(彼女はいつも言い訳ばかりしていた。)
- ④ He was coming here at five o'clock.
(彼は5時にここへ来ることになっていた。)

(3)の問題では「トムは…興味を失いかけていた」となっていますので、②の〈変化の途中〉「～しかけていた」を表す過去進行形を使って、Tom was losing interest の語順にしましょう。

「テニスへの興味」は interest in tennis になります。「～に興味がある」の連語表現が 〈be interested in ~〉 になるのと同様に interest とのつながりで前置詞は in を使うことを覚えておきましょう。

Note

(4) 彼らは明日、そこで働いているでしょう。

They/ will be working / there / tomorrow.

未来進行形
will be+~ing
「~しているところだろう」

「そこで」

未来進行形は次のような用法で使われます。

未来進行形… 〈will be+ ~ing〉

- ① 未来のある時点における進行中の動作・出来事
「~しているところだろう」
- ② 確定的な未来の予定・成り行き
…関係者の意志や意図とは関係なく起こる当然の
未来を示す。天気予報などに使われる。

- ① At this time tomorrow I'll be driving through Kobe.
(明日のこの時間には私は神戸を車で通り抜けているだろう。)
- ② The typhoon will be probably hitting Kyusyu tomorrow morning.
(台風は明日の朝、九州に上陸しているでしょう。)

(4)の問題は「…明日、そこで働いているでしょう」なので未来進行形を用いて **will be working** の語順を作りましょう。

there 「そこで」と **tomorrow** 「明日」は、基本的には〈場所+時〉の語順にしますので、**there tomorrow** を〈主語+動詞(+目的語など)〉の後に置きましょう。

なお、状態を表す動詞は、次のように基本的には進行形にしません。

「状態・構成を表す動詞」や「心の動きを表す動詞」
「知覚動詞」は進行形にしない。

具体的には次ページのような動詞になります。

[進行形にしない動詞]

〈状態・構成〉

be (～である)	have (持っている)
own (所有している)	possess (持っている)
remain (～のままである)	belong (to) ((～に)属している)
consist (of) ((～から)成る)	depend (on) ((～)次第である)
exist (存在する)	resemble (～に似ている)
contain (含んでいる)	differ (異なる)
equal (～に等しい)	cost ((費用が)かかる)

〈心の動き〉

like (好きだ)	know (知っている)
love (愛している)	hate (憎んでいる)
believe (信じている)	understand (わかっている)
remember (覚えている)	

〈知覚〉

see (見える)	hear (聞こえる)
feel (～と感じる)	taste (～の味がする)
smell (～においがする)	

しかし、状態動詞であっても以下の場合には進行形にすることができます。

- ① 少しずつ状態が進行し、変化を表す場合
- ② 動作動詞として使われる場合
- ③ 一時的状態を意図的に続けている場合

- ① I am understanding English more and more.
(私はだんだん英語がわかってきています。)
- ② We're having lunch together. [have が「食べる」の場合]
(わたしたちはランチを一緒に食べています。)
- ③ He is being kind.
(彼は優しくしている。)[一時的に振る舞っている]

